

■韓国：石油依存度 35%に

韓国エネルギー研究院（KERI：Korea Energy Research Institute）は2011年7月13日、「中期エネルギー需要展望 2010～2015年」を発表した。この中で、一次エネルギー需要量について、2010年の2億6,120万 toe（石油換算トン）から年率3.3%で増加し、2015年には3億719万 toeになり、石油への依存度が39.9%から35.4%に低下し、液化天然ガス（LNG）と原子力発電が増える（年平均増加率はLNG 5.6%、原子力発電 6.2%）とされている。一次エネルギー需要に占める割合は、産業用が59.2%から60.2%に高まると見込まれている。